取付説明書［本体用］

SANYO

SSDポータブルナビゲーション
車載用取付キット一式・パーキングブレーキ接続ケーブル一式・
12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル

付属品の確認

【　】内はサービス販売部品コードです。
新たにご購入の際は、【　】内の10桁のコードでご注文ください。

車載用取付キット一式 [661 172 7527]

- スタンドベース [661 109 5152]（1個）
- コードクリップ [661 109 5169]（3個）
- タッピングビス（M4×12）[411 191 1200]（3本）
- クッション材 [661 109 5176]（1個）
- クリーナー [661 172 7558]（1枚）

12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル

12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル [661 158 3765]（1個）約2.7m

パーキングブレーキ*接続ケーブル（マグネットタイプ） [661 173 7151]

- セルフロックコネクター [632 635 1116]（1個）
- 2.5φミニジャックコード [661 173 7168]（1本）約2m
- リードスイッチ付コード [661 173 7373]（1本）約1m
- パーキングケーブル [661 173 7175]（1本）約1m
- クランパー [661 097 7480]（3個）
- ワイヤーバンド [661 173 7557]（1本）
- マグネット [661 173 7076]（1個）

※上記記載の“m”は部品のおおよその長さを表しています。
※フィルムアンテナの取り付け方法は、取付説明書［フィルムアンテナ用］をご覧ください。
*印：サイドブレーキ（ハンドブレーキ）／フットブレーキは、パーキングブレーキと同一の意味を表します。

作業が困難な場合は、本機または車のお買い上げ店や最寄りのカーディーラーにお問い合わせください。
（作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。）

SD とは Solid State Device（ソリッドステートデバイス）の略で、地図データの記録媒体として（大容量）フラッシュメモリーを使用したものです。

三洋電機株式会社
三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
車載機器事業部
〒680-8634　鳥取県鳥取市立川町7丁目101

Printed in Japan　2RR6P12A75800

ナビゲーションの取り付け位置について

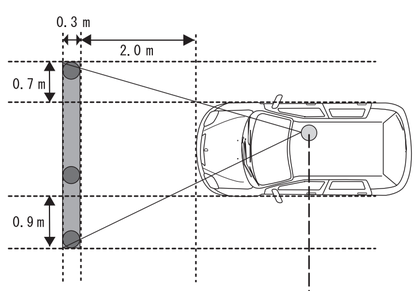
国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正（平成17年1月1日）に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。
ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準

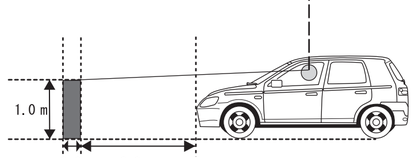
■ 対象車種
① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■ 基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

上面図



側面図



※イラストは右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

取り付け位置／取り付け寸法について

■ 取り付け位置について

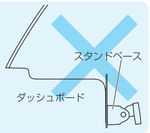
エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
（取付位置の安全性を考慮し、販売店またはカーディーラーにご相談の上、取付位置を決めてください。）

必ず指定のスタンドを使用してください。

下記のような不安定な場所には取り付けないでください。

- スタンドベースの貼り付け面が安定していないところ

- スタンドベースの貼り付け面が垂直または下向きになるところ



※取り付け後は定期的に貼り付け状態を確認してください。

禁止　運転や視界の妨げになる場所には絶対に取り付けない。

禁止　エアバッグのカバー部分および、作動の妨げになる場所には絶対に取り付けない。

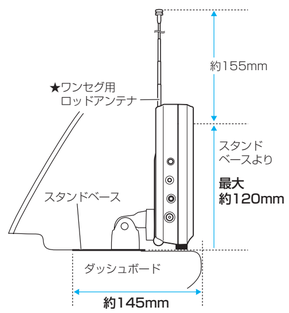
■ 取り付ける前に必ずお読みください。
- 本体の取り付けには下記の取り付けスペースが必要です。
- スタンドベースを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。
- 取り付けたいスタンドベースの位置で、GPSが受信できる／ワンセグ（テレビ）が受信できる／FMトランスミッターの送信が可能かどうかを確認してから取り付けてください。

※GPSの電波を受信する／GPS情報の確認につきましては、取扱説明書「GPS衛星の電波を受信するには」／「GPS情報を見る」をご覧ください。
ワンセグ受信につきましては、取扱説明書「テレビ視聴」をご覧ください。
FMトランスミッターの送信方法につきましては、取扱説明書「FMトランスミッターを設定する」をご覧ください。

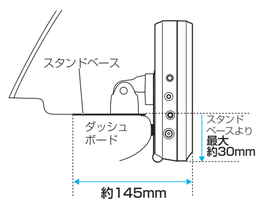
- 別売のGPS外部アンテナを車内に取り付けると電波を正確に受信できない場合がありますので、できるだけ車外に取り付けてください。

■ 本体の取り付け寸法

取付例① 上側に取り付けた場合



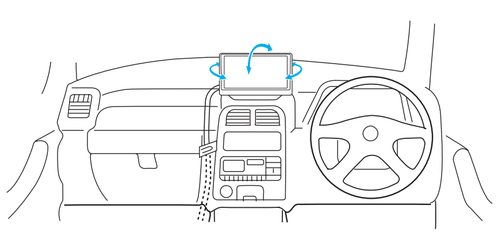
取付例② 下側に取り付けた場合



★印：上側に取り付ける場合は、ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

■ 取り付け角度について

付属のスタンドベースを使用して、本体をしっかりと固定してください。
自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は30度以内で調整してください。
※なるべくダッシュボードと水平になるように取り付けてください。

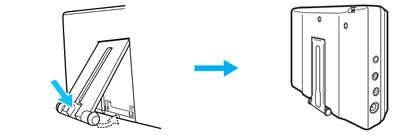


本体の取り付けかた

車載用取付キット一式 [661 172 7527]

- スタンドベース [661 109 5152] 1個
- コードクリップ [661 109 5169] 3個
- タッピングビス（M4×12）[411 191 1200] 3本
- クッション材 [661 109 5176] 1個
- クリーナー [661 172 7558] 1枚

■本体うしろ側のスタンドは、必ず閉じた状態でご使用ください。開いた状態で取り付けを行なうとスタンドベースから外れて交通事故やけが、または故障の原因となります。

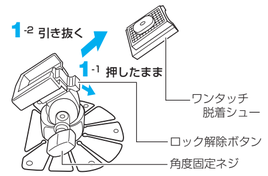


- スタンドは、“カチッ”と音がするまで押してください。
- スタンドについては、別冊の取扱説明書 「スタンドについて」をご覧ください。

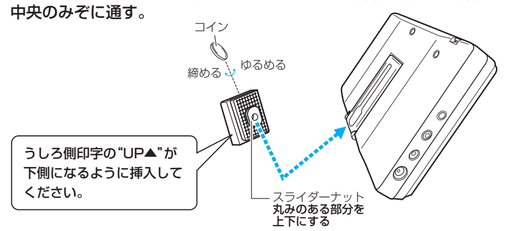
手順 1. 本体にスタンドベースを仮止めする

※はじめに、スタンドベースの角度固定ネジをゆるめて、下図のように向きをかえてください。

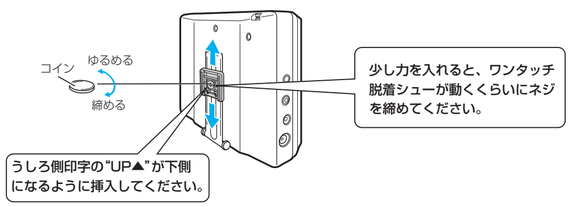
1 スタンドベースからワンタッチ脱着シューを取り外す。



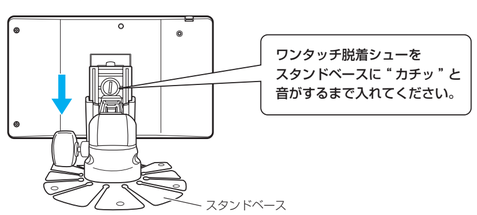
2 スライダーナットのネジをゆるめて、ワンタッチ脱着シューを本体の中央のみぞに通す。



3 ワンタッチ脱着シューの位置を調整する。

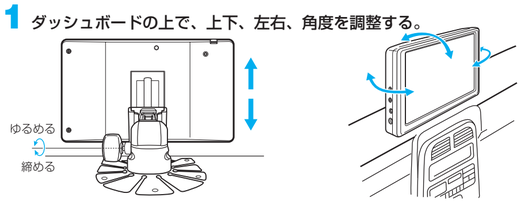


4 スタンドベースに装着する。

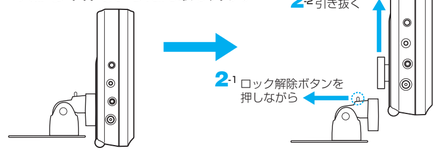


手順 2. 取り付け位置を決め、スタンドベースをダッシュボードに取り付ける

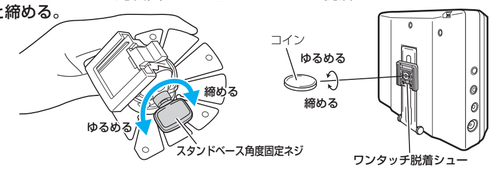
1 ダッシュボードの上で、上下、左右、角度を調整する。



2 スタンドベースから本体をいったん取り外す。



3 スタンドベースの角度固定ネジと、ワンタッチ脱着シューのネジをしっかりと締める。



4 スタンドベースをダッシュボードに貼り付ける。

■ 貼り付ける前に必ずお読みください。
- 必ず付属のクリーナーで貼付場所をきれいに拭き、完全に乾燥してから貼り付けてください。
- 気温が低い（20度以下の）場合は、車内ヒーターで車内を暖めてください。
- スタンドベースの粘着面全体を上からしっかりと押さえて貼り付けてください。全面で貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- 貼り付け直後は接着力が弱いため、必ず24時間以上、スタンドベースのみの状態で放置してください。
- ダッシュボードからはがす場合、強力な粘着テープを使用しているため、ダッシュボードを傷めたり、破れたりすることがあります。

スタンドベースはダッシュボードの形状にあわせて粘着面全体が貼り付けれるように曲げてください。

本体を装着せず24時間以上放置する

※ダッシュボードの形状／材質によっては粘着テープだけでは強い接着力が得られないので、付属のタッピングビス3本を使用して確実に固定してください。

※この場合、ダッシュボードに穴があきますので、ご了承ください。

手順 3. 本体をスタンドベースに取り付ける

手順1-4のイラストを参考に、本体をスタンドベースに取り付ける。
■ ダッシュボードに本体が近接するときは、クッション材を使用してください。

本体がダッシュボードの上側の場合　本体がダッシュボードより下側の場合

振動によるぐらつき防止のため本体とダッシュボードが接触する場所に付属のクッション材を必ず貼り付けてください。
クッション材はダッシュボードに貼り付けてください。

⚠注意
- 一度貼り付けたスタンドベースをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、ていねいにはがしてください。
強力な接着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- 有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）は使用しないでください。

パーキングブレーキ接続ケーブル・12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルを接続するには

警告 運転中は絶対に操作しない。

注意 エンジンを切ってもカーシガーライターの電源が切れない場合は、カーシガーライター接続ケーブルを外してください。
※定期的にゆるみや欠けなど、異常がないか確認してください。

定期的にプラグ先端のゆるみや欠けなど、異常がないか確認してください。
プラグ先端に異物が付着したりゆるみが発生すると、接触不良により発熱し火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

⚠注意
- 走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり危険です。本機では、お客様の安全を守るため、走行中の操作を制限しています。パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。
- リードスイッチ付コードのスイッチ部分に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- マグネット／スイッチ部分に、水分などがかからないようにしてください。故障の原因となります。
- シフトレバー側マグネットは磁気を帯びていますので、時計や磁気カードなどを近づけないでください。

※時計や磁気カードが故障したり使用できなくなることがあります。
- マグネットタイプで接続する場合、車種によっては、取り付けられない場合があります。そのときは☞「■配線タイプの場合」の方法で取り付けていただくかお買い上げの販売店またはカーディーラーにご相談ください。

手順 1. 配線をする前に

■ 配線タイプの場合

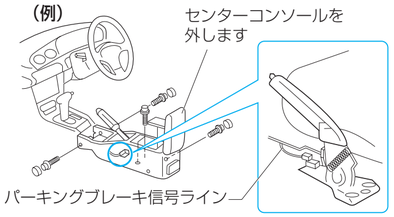
下記付属品を準備してください。

2.5φミニジャックコード【661 173 7168】	パーキングケーブル【661 173 7175】	セルフロックコネクター【632 635 1116】	クランパー【661 097 7480】
(1本) 約2m	(1本) 約1m	(1個)	(3個)

※各サービスコードにつきましては、裏面の☞「付属品の確認」をご覧ください。

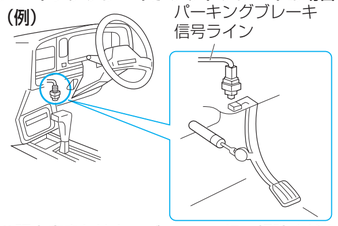
●パーキングブレーキがハンドブレーキの場合

(例)



●パーキングブレーキがフットブレーキの場合

(例)



※車種によって異なります。詳しくは、お車をお買い上げの販売店またはカーディーラーにご相談ください。

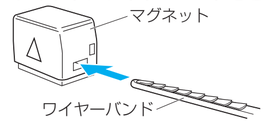
■ マグネットタイプの場合

下記付属品を準備してください。

2.5φミニジャックコード【661 173 7168】	リードスイッチ付コード【661 173 7373】	マグネット【661 173 7076】	ワイヤーバンド【661 173 7557】	クランパー【661 097 7480】
(1本) 約2m	(1本) 約1m	(1個)	(1本)	(3個)

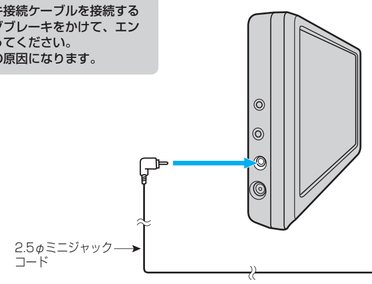
※リードスイッチ付コードのスイッチと、マグネットの距離が3mm以上離れる場合は、☞「■配線タイプの場合」(下記)の方法で接続してください。

①マグネットにワイヤーバンドをとおす。

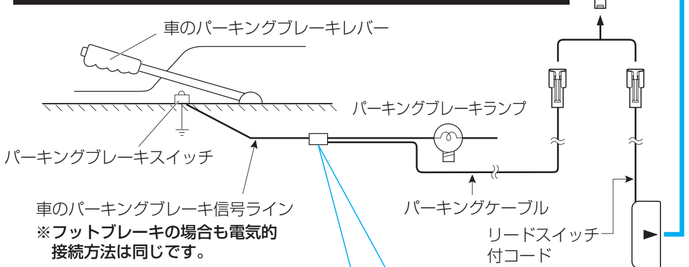


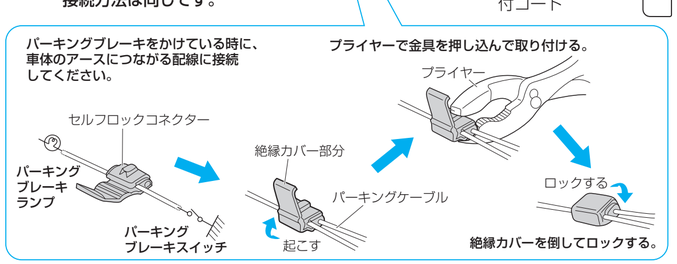
手順 2. 配線する

⚠警告 パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するときは、パーキングブレーキをかけて、エンジンを切って行なってください。
車が動いて、事故の原因になります。



■ 配線タイプの場合



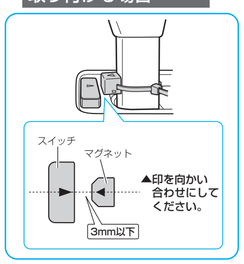


■ マグネットタイプの場合

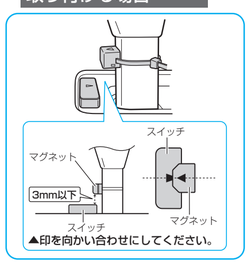
※車のシフトレバーをP(パーキング)の位置にしてから取り付けてください。

① マグネットとスイッチの取り付け位置について

■ シフトレバーの下側に取り付ける場合

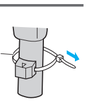


■ シフトレバーの上側に取り付ける場合

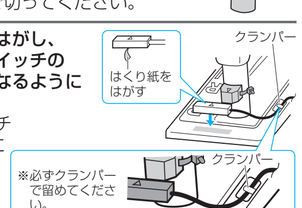


② シフトレバーをパーキング(P)の位置にし、マグネットのはくり紙をはがしてシフトレバーに貼り付ける。

③ マグネットにとおしているワイヤーバンドでしっかりと締める。
※締めたあと、ワイヤーバンドが長すぎた場合は、はさみなどで切ってください。

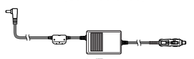


④ スイッチのはくり紙をはがし、マグネットの▲印とスイッチの▲印が向かい合わせになるように貼り付ける。
※マグネットとスイッチの間隔は3mm以下になるように貼り付けてください。



12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルを接続するには

12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル
カーシガーライター接続ケーブル【661 158 3765】
1個



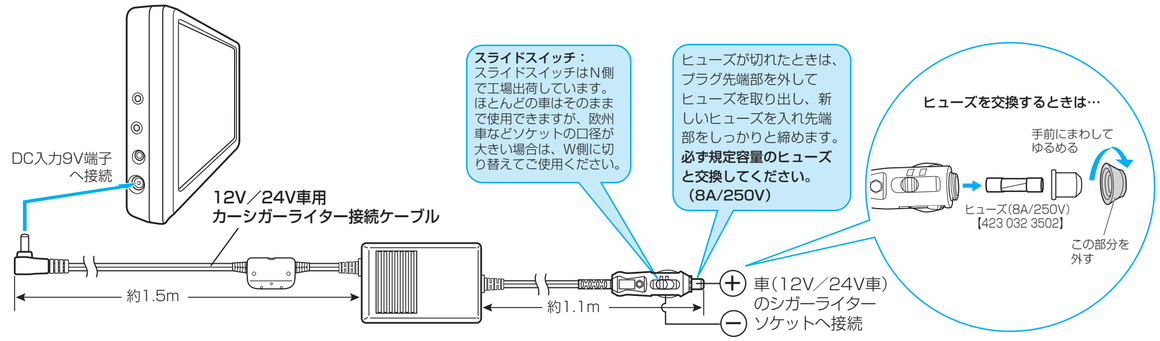
AC 電源では、VICS 受信の機能が動作しません。

注意 エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない場合は、エンジンを切ったら、必ず、12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルを外してください。

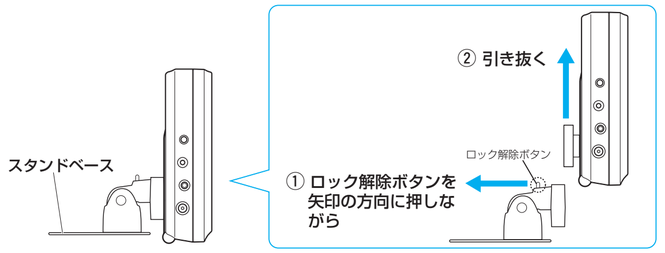
警告 運転中は絶対に操作しない。

定期的にプラグ先端のゆるみや欠けなど、異常がないか確認してください。
プラグ先端に異物が付着したりゆるみが発生すると、接触不良により発熱し火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

手順 1. ナビゲーションに接続する



スタンドベースからナビゲーションを取り外すには



⚠注意 液晶ディスプレイやボタンなどがあるところを持って、本体を取り付けたり、取り外したりしないでください。故障の原因になります。

接続確認について ☞ 取扱説明書「接続確認をする」をご覧ください。

パーキングブレーキ接続ケーブルとカーシガーライター接続ケーブルを接続後、パーキングブレーキ接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

① 車のパーキングブレーキをかける。
② メニュー ボタンをタッチし、情報 ボタンをタッチする。
③ 車両センサー ボタンをタッチする。
④ 接続確認画面で、パーキングブレーキが“ON”になっていることを確認する。
※ “OFF” になっているときは、車のパーキングブレーキをかけているか、またはパーキングブレーキ接続ケーブルが正しく接続されているか再度確認してください。
⑤ 現在地 ボタンをタッチする。
：現在地の地図画面に戻ります。

■ 操作や機能の制限について

- 安全のため、パーキングブレーキをかけないと、ワンセグを見たり、メニューの操作をすることはできません。
- パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、VICSの機能が使えません。
車のパーキングブレーキ信号ラインが細い場合、接続が不十分になり正しく動作しないことがあります。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやバックランプ、ホーン、ウィンカーなどの電装品が正しく動作するか確認してください。

走行中は安全のため次の表のように、操作や機能が制限されます。

主な操作・機能	走　行　中	停車中 ※2
メニュー (ナビゲーション)	△※1	○
クイック機能 (ナビゲーション)	△※1	○
スクロール (ナビゲーション)	△ (地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。)	○
ワンセグ (録画中も含む)	△※3 (映像が出ず音声のみ)	○
録画再生	△※3 (映像が出ず音声のみ)	○
音楽再生	○	○
画像再生	○	○
動画再生	△※3 (映像が出ず音声のみ)	○
ヘッドホン (音声出力)※4	×	○

○：制限なし／△：一部制限あり／×：使用不可
※1 走行中操作できない項目は暗くなります。　※2 停車中とは、停車しパーキングブレーキをかけた状態です。
※3 走行中でも音声は出ます。　※4 ヘッドホン(市販)接続時

ワッシャーが外れた場合は‥‥

ネジをワンタッチ脱着シューから外した場合、ワッシャー(2枚)も一緒に外れるおそれがあります。
ネジを取り付ける際は下記イラストを参考に、ワッシャーも一緒に取り付けてください。